

【主要薬剤・作物別混用事例集】

※必ずお読みください

1. この混用事例集は、使用者が混用する際の目安となるように、効果・薬害等の試験例・使用事例を参考にとりまとめたものであり、相手剤の登録を保証するものではない。なお、混用に当っては各薬剤の製品ラベルをよく読む。混用相手剤の作物適用が削除になっている場合があるので最新の登録内容を順守する。
2. この混用事例集は、混用した希釈液を製品として保証するものではない。
3. この混用事例集は、全国的に見た一応の目安として作成した。したがって、地域・産地で経験や知見がある場合は、本表より優先させる。
4. この混用事例集は、登録の範囲の希釈濃度（航空防除・スプリンクラーなどの高濃度少量散布は除く）で、できるだけ速やかに散布を完了することを前提として作成した。
5. 農薬は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象・栽培条件などによって薬害を生じる場合があるが、この混用事例集の判定はあくまでも混用を前提とし、単用による薬害は反映させていない。
6. 塩基性塩化銅水和剤などのように、成分名で一括表記した薬剤は、個々の薬剤について登録の有無を確認する。
7. 単用で皮ふかぶれを起こしやすい農薬と乳剤の混用は皮ふかぶれをさらに助長することがあるので注意する。
8. 有機リン剤どうしの混用は急性毒性が増加する場合があるので注意が必要である。
9. 水和剤あるいはフロアブル剤と乳剤を混用する場合は原則として次による。まず乳剤の希釈液を調製し、ついで水和剤あるいはフロアブル剤を加えて混用液を調製する。少量の水に乳剤と水和剤あるいはフロアブル剤を同時に加えて練ってから希釈する方法はさける。
10. フロアブル剤と水和剤を混用する場合は、まずフロアブル剤の希釈液を調製し、ついで水和剤を加えて混用液を調製する。両薬剤を同時に加え、練ってから希釈することはさける。
11. 水和剤あるいはフロアブル剤どうしを混用する場合は、まず1つの水和剤あるいはフロアブル剤の希釈液を調製した後、次の水和剤あるいはフロアブル剤を加えて混用溶液を調製する。両薬剤を同時に加え、練ってから希釈することはさける。乳剤の場合も同様である。
12. 混用に当っては良好な散布薬液を得る手順についての知見や経験がある場合は、それを優先する。
13. 不明の点は専門の技術者に相談する。

記号の説明

●：混用事例があり問題なかった。

×：混用できない。

空欄：判定するに足りる知見がない。

その他の記号については各頁下部の記載を確認する。

サムコルフロアブル10

病害	作物名	り	も	な	西	ふ	あ	す	か	う
		ん	し	な	洋	茶	ど	も	タ	リ
薬剤名		こ	も	し	な	う	う	も	き	め
A ICボルドー412		●			●					
ICボルドー66D							●			
Zボルドー水和剤							●			●
A アグリマイシン100水和剤			●					●		
アグレプト液剤			●							
アグレプト水和剤			●					●		
A アスハイア水和剤		●								
アフエットフロアブル		●	●	●			●	●		
アミスター10フロアブル		●	●	●			●	●		
アミスター20フロアブル						●				●
アントラコール顆粒水和剤										
アンビルフロアブル		●	●				●	●		
イオウフロアブル			●						●	●
イデクリン水和剤						●				
インプレッションクリア							●	●		
インダーフロアブル		●	●	●						●
E コシヨト				●						
エムダイファー水和剤									●	
オーシャイン水和剤		●	●	●			●	●		
オーシャインフロアブル		●	●	●			●	●		
オーソサイド水和剤80		●	●	●					●	●
オキシラン水和剤		●	●	●						
オノールワンフロアブル		●	●	●			●	●	●	●
カークゼートPZ水和剤										
カスミンボルドー						●				
カナメフロアブル		●	●	●						
カンタスドライフロアブル										
カンパネラ水和剤							●			
キノドー水和剤80		●	●	●						
キノドー顆粒水和剤		●	●	●						
キノドーフロアブル		●	●	●						●
キャブレート水和剤			●	●				*		
クミガードSC										●
ゲッター水和剤							●			
コサイドボルドー		●								
コサイド3000		●	●	●						
コロナフロアブル		●	●	●						
サルフバトールME		●								
サルファーツル		●								●
サンボルドー						●				
サンリット水和剤		●			●					
シトラーノフロアブル		●								●
ジマンタイセン水和剤		●	●	●						
スイッチ顆粒水和剤							●			
スクレアフロアブル										●
スコア顆粒水和剤								●	●	●
スコア水和剤10								●	●	●
スコアMZ水和剤		●								
スターナ水和剤										
ストマイ液剤20										
ストライド顆粒水和剤									●	
ストロビードライフロアブル		●	●	●						●
ストロビーフロアブル						●				
スパットサイド水和剤									●	
スミレックス水和剤			●					●		
石灰硫黄合剤										
ダイバワー水和剤										
ダイヤモンド水和剤		●	●	●				*		
ダコニール1000		●	●	●						
ダコレート水和剤		●	●	●						
ダコレックス水和剤		●	●	●						
チオノックフロアブル		●	●	●					●	●
テーク水和剤		●								●

病害	作物名	り	も	な	西	ふ	あ	す	か	う
		ん	し	な	洋	茶	ど	も	タ	リ
薬剤名		こ	も	し	な	う	う	も	き	め
デランフロアブル		●	●	●			●			●
ドイツボルドーA		●	●	●			●			●
トップジンM水和剤		●	●	●			●			●
トリフミン水和剤		●	●	●			●			●
トレンックスフロアブル		●	●	●					●	●
ナティーポフロアブル		●	●	●						●
ナリアWDG		●	●	●			●			●
A バイレトン水和剤25							●			
バイレトン水和剤5							●			
パスポートフロアブル		●								
パスワード顆粒水和剤										
バリダシン液剤5		●							●	
ビオネクト		●	●	●						
ビクシオドライフロアブル										
ファンタジスタ顆粒水和剤		●	●	●			●			●
フェスティバルM水和剤								●		
ブラウ水和剤		●								
フリントフロアブル25		●	●	●					●	
フルーツガード顆粒水和剤		●	●	●						
フルーツセイバーフロアブル		●	●	●						
フルピカフロアブル										●
フロアダ水和剤		●								
フロンスайд水和剤										
フロンスайдSC										
ベトファイター顆粒水和剤										●
ベフキノン水和剤										
ベフドー水和剤							●			
ベフラン液剤25		●								
ベルクートフロアブル		●	●	●					●	●
ベルクート水和剤		●	●	●				*	●	●
ベルクガード水和剤										
ベンコゼブフロアブル										●
ベンコゼブ水和剤		●	●	●						●
ベンレート水和剤		●	●	●						●
ホライズンドライフロアブル										
ポリオキシンAL水和剤		●	●	●						
ポリオキシンO水和剤		●	●	●						
ポリキャプタン水和剤		●	●	●						
ポリペリン水和剤		●	●	●						●
マ マイコシールド		●							●	●
マネージDF		●	●	●						
マネージ水和剤		●	●	●						
マネージM水和剤		●	●	●						
ヤ 有機銅水和剤40		●	●	●						●
有機銅水和剤80		●	●	●						●
有機銅フロアブル		●	●	●						●
ユニックス顆粒水和剤47		●	●	●						●
ユニックスZ水和剤		●	●	●						●
ヨ エノネン水和剤										
ラ ライメイフロアブル							●			
ラビライト水和剤										●
ラリー水和剤		●	●	●						
ランマンフロアブル										
リドミルMZ水和剤										
ルビゲン水和剤										●
レーバスフロアブル										
ロブド水和剤		●								
ロブール水和剤		●	●	●					●	●
ロブール500アクア		●	●	●					●	●
ベルクート水和剤+アンビルフロアブル										●
ベルクート水和剤+アルバリン顆粒水溶液		●								
ベルクート水和剤+ダントツ水溶液		●								

*…葉への葉害は認められなかったが、着色期以降は果実の着色障害が起こる可能性があるため混用散布時期に注意